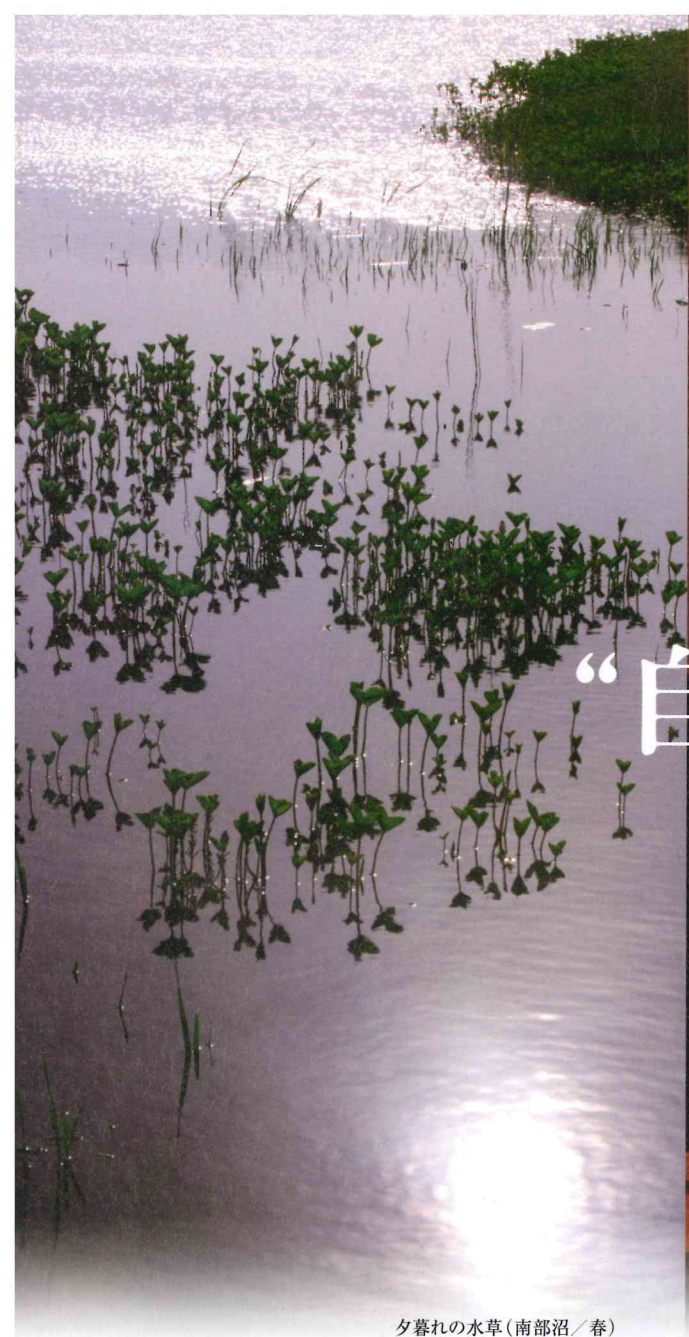


ただ、そこに **あるのが自然**

“自然”は会いには来てくれない。

あらゆるものが日を追うごとに便利になるハイテク技術の映像でも、ほんものの自然を運んで対面したくなる自然、そんな自然が

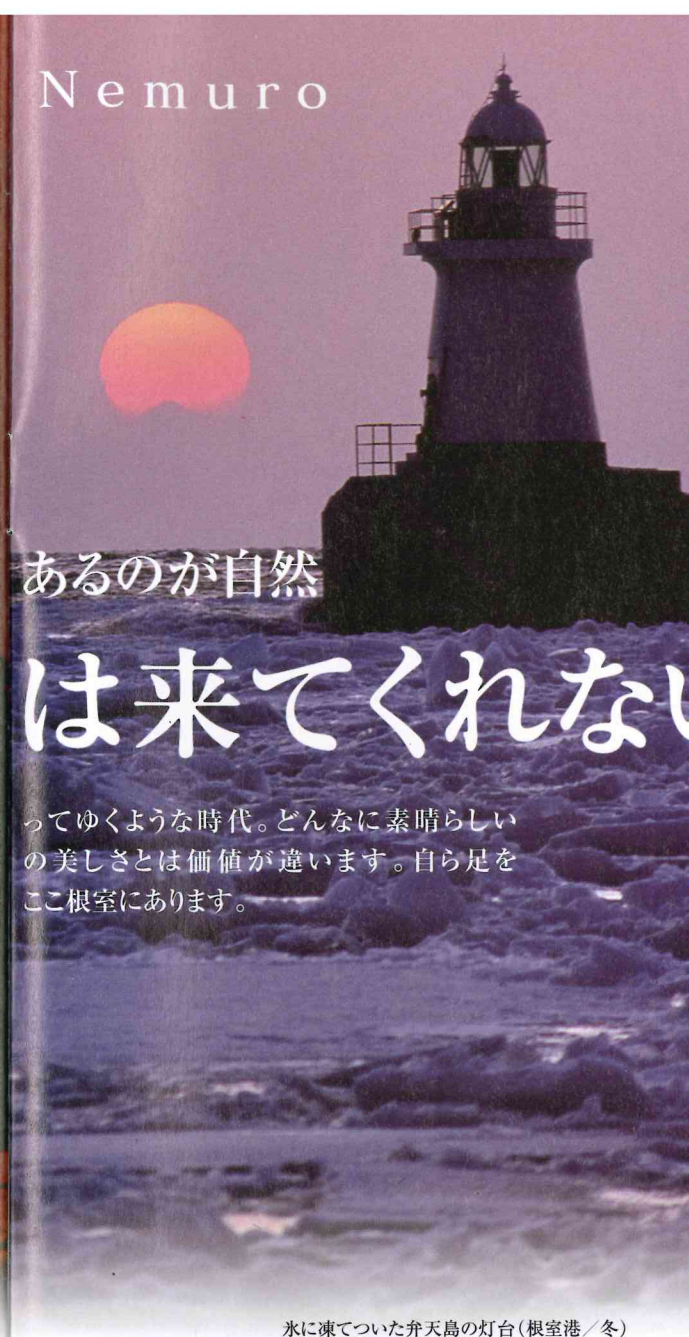
あつてゆくような時代。どんなに素晴らしいの美しさとは価値が違います。自ら足をここに根室にあります。



夕暮れの水草(南部沼/春)



アオサギと落日(春国岱/秋)



氷に凍てついた弁天島の灯台(根室港/冬)



黄色い花は“ネムロコウホネ”(湖沼・フレシマ海岸/夏)



最東端の街、根室は北方領土返還運動原点の地。

本土最東端に位置する街、根室。細長く突き出した半島が太平洋とオホーツク海を分けています。その最東端にあたるのが納沙布岬。ここから北方領土・歯舞群島の貝殻島までは、わずか3・7km、晴れていれば肉眼でも見るができます。

その島々も現在ロシアに不法に占拠されており、

北方領土返還運動は昭和20年12月に連合国軍総司令官・マッカーサー元帥あてに陳情書を提出したのがはじまりとされています。北方領土返還運動原点の地根室では、北方領土復帰実現に向けて取り組みが続いております。